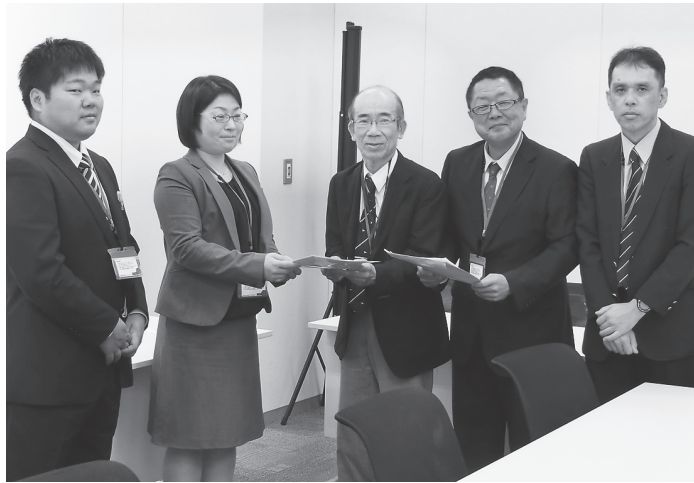


11/5
2016年第1250号
大阪府歯科保険医協会
敬 志岐 会
大 市浪速区幸町1-2-33
電 話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可



要請書を手渡す参加者ら＝10月20日、東京

「か強診」

「物」二価の不合理是正を

保団連近畿ブロック 厚労省に要請

協会・保団連近畿ブロックは、「か強診」によってCeやSPTに「物」二価が生じた問題など、2016年診療報酬改定の不合理是正を求め、10月20日に厚労省へ要請した。要請には吉田裕志大阪歯科協会副理事長、川村雅之兵庫協会副理事長、平田高士京都歯科協会副理事長が参加、厚労省からは小嶺祐子保険局医療課長補佐、大平貴士同主査が対応し、「現場の実態と見合わない」との指摘は受け止め、しっかりと検討したい」と答えた。

矛盾多く不適切

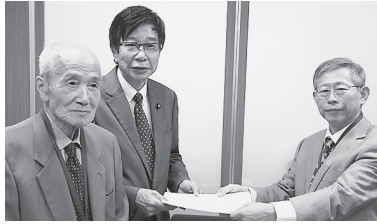
要請では「か強診」をはじめ、この間の保団連の要請が一部反映された疑義解釈(その6)を踏まえ、改めて未改善項目を質した。「か強診」について厚労省は、地域でより安心・安全で濃密な歯科医療を提供する診療所の機能を評価したもので、包括範囲も違い単純な「物」二価ではないとして理解を求めた。

設基準を満たしても、F局やSPTなどの治療の質が上がるわけではないのに、患者間で負担金がい異なる③「か強診」の要件は外来環や歯援診、医管で評価されており、二重評価である④Ceの処置や管理を専門的に実施している小児歯科で訪問診療の実績がない場合は低評価になる⑤など「か強診」は矛盾が多く、適切ではないと訴えた。

厚労省は、「か強診」の施設基準と治療内容が1対1で対応していないことを認めたが、医科や薬局とは違う「かかりつけ歯科医」の「機能」を評価した、指摘は受け止めたいと返答した。このほか、SPT中はTFixを1回に制限しないことや、色調検査時の写真添付を電子媒体でも可とすること、医管の施設基準で、非常勤の歯科衛生士を認めることなどを求めた。

患者負担増許さない

国会行動と集会に会員ら参加



(写真上から)長尾、宮本、清水、大門の各議員＝10月20日、国会会館内

5議員と面談

安倍政権が計画する医療介護の患者・利用者負担増計画をストップさせようと、協会・保団連は10月20日、国会議員への要請を行った。要請には保険でよい歯科医療を大阪連絡会も参加、要請団は歯科医師、歯科技士、歯科衛生士、事務局20人にのぼった。同日午後は、「憲法・いのち・社会保障ももる10・20国民集会」が東京・日比谷野外音楽堂で開かれ、3000人が参加し、医療

・介護・福祉の充実などをアピールした。

↓関連③面

議員要請では、自民党の長尾敬衆院議員、日本共産党の宮本岳志、清水忠史衆院議員、大門美紀史参院議員、無所属の上西小百合衆院議員と面談し、後期高齢者の窓口負担の2割化や70歳以上の高額療養費の引き上げといった高齢者の窓口負担増の中止、保険でよい歯科医療の実現などを求めた。

集会には保団連から約180人が参加。日本歯科医師会会長はじめ33団体、41人の国会議員から賛同メッセージが寄せられた。

「一兎を追う福祉型経済こそ

「アベノミクス」をどう評価するか。

アベノミクスは、金融緩和によって、お金が増え、資に回り、雇用が増え、所得が増えると言ってきた。実質賃金が2013年7月以降15年4月まで

安倍政権は28兆円もの経済対策を打ち出したが、その中身は旧来型の大型公共投資だ。リニアや整備新幹線、大型フェリー船受入のための港湾整備が中心だ。従来型の土建国家型の政策では、

借金を増やすだけの結果になりかねない。この20年間の日本経済の低迷を打開するには経済政策の方向転換が必要だ。国民生活の再建をめざす対抗戦略が必要だ。

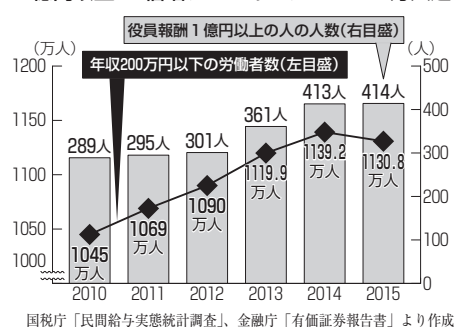
内発的発展

経済再生に展望はあるのか。

雇用保障と生活保障システム再建の二兎を追う

政策が必要だ。そのためには地域経済の内発的発展を支える税・財政制度の改革が必要だ。安倍内閣の経済対策は、大企業優遇の税制や労働法制の規制緩和、大型公共事業中心だが、医療・介護サービス活動などの社会保障活動の拡大こそ、国民の医療や介護などのニーズの増加に因應する国民生活のセーフティネットとして機能する。それだけでなく、生産や消費、雇用の創出を通じて国内経済の支えをする国民経済上のセ

アベノミクスの3年で役員報酬 1億円以上1.4倍増、ワーキングプア1130万人超



「一兎を追う福祉型経済こそ」の効果があがる。例えば、「保育サービス」「職業訓練」への政府支出をOECD平均実質賃金に近づける。質レベルまで増やせば、「労働生産性の向上」「財政健全化」「自殺率の減少」「子どもの貧困率の減少」に貢献する可能性がある。

会員署名に協力を

協会は、患者負担増に反対する会員署名に取り組んでいます。今号に署名用紙を同封していますので、ご協力をお願いします。

歯界

私事だが癌から復帰した妻がベテラン卓球に出場する。2年に一度外国へ出かける。その間、私は助手なしの一人診療である。

4度目の海外遠征になる今回の行き先はスペインだ。スペインに対する私のイメージはピカソでもレアル・マドリッドでもなく、かのドンキホーテである。家来が一人というのも私に似ているが、格好良く振る舞えはより滑稽となるキャラクターに親しみが持てる。風車に向かって敢然と突進する勇猛さは憧れでもある。風車はオランダのシンボルである。16世紀にはハプスブルグ家の支配下にあったオランダは、17世紀にはいち早く市民社会を形成して隆盛した。風車は落ち目のスペインをあざ笑うように、キホーテが「もう許せん！」といきり立つ気持ちに同情できる。

世界第2位の経済大国だった日本もランクを一つ落として苛立ちも分かる。だが、右傾化と軍事大国化ではキホーテみたいな可愛げもない。